

研 究 所 日 誌 1986 (昭和61) 年度

1986年4月1日～1987年3月31日
(S.61～62) 桃山学院大学総合研究所

A. 共同研究関係

1. 共同研究プロジェクト活動

① (84共42) 現代世界の政治・経済における理論と現状分析の基礎研究 (代表: 勝部元)

- ・ 6月7日 研究会「最近の国際金融動向について」報告者: 岡崎守男 参加者: 勝部元, 鈴木博信, 藤澤道郎, 村山高康, 森本良男 場所: 関西文化サロン
- ・ 1月21日～22日 研究会「フィリピンにおける最近の情勢について——その政治・社会・文化——」報告者: 村上公敏 参加者: 岡崎守男, 勝部元, 鈴木博信, 永井清彦, 藤澤道郎, 村山高康, 森本良男 場所: 三重県, 志摩観光ホテル

② (84共43) 産業記念物の調査・研究 (代表: 庄谷邦幸)

- ・ 4月6日～8日 調査「岐阜県関市の機械金属工業（特に刃物産業）の技術史についての実態調査」（並川宏彦）場所: 岐阜県関市産業振興センター, 金属試験場, 刃物工業団地, フェザー刃物㈱, 岐阜県歴史博物館, 各務原金属工業団地
- ・ 7月24日～26日 調査①「大学における博物館の管理運営についてのヒアリング」（池野茂, 庄谷邦幸, 並川宏彦, 坂本賢三）場所: 東京, 明治大学刑事博物館, 考古学博物館他
②「計算機輸入に関する資料調査」（池野茂, 並川宏彦）場所: 丸善本の図書館
- ・ 9月25日 調査・見学①「タイガー計算器㈱岩垣技術部長からヒアリング」（庄谷邦幸, 並川宏彦）
②「大阪音楽大学楽器博物館見学, 橋本次裕氏からヒアリング」（庄谷邦幸, 並川宏彦）場所: 大阪市, 豊中市

③ (84共44) 近代日本の歴史と文化(Ⅲ)——その多角的研究—— (代表: 松浦玲)

- ・ 5月26日～27日 研究会「宮崎市定著『中国史』上・下（岩波全書）をめぐって」参加者: 有山輝雄, 熊谷次郎, 芝村篤樹, 滝澤武人, 松浦玲, 山下直登 場所: なにわ会館
- ・ 7月26日 研究会「日清戦後の経営論」報告者: 山下直登 参加者: 沖浦和光, 熊谷次郎, 芝村篤樹, 滝澤武人, 松浦玲 場所: なにわ会館
- ・ 10月28日 研究会「関一日記をめぐって」講師: 加茂利男氏（大阪市大法学部）参加者: 熊谷次郎, 芝村篤樹, 滝澤武人, 生瀬克己, 松浦玲, 山下直登 場所: 学内
- ・ 12月9日 研究会「大阪都市論研究をめぐって」参加者: 熊谷次郎, 芝村篤樹, 滝澤武人, 松浦玲, 山下直登 場所: 学内
- ・ 3月22日～25日 調査「近代日本と四国一主として坂本龍馬, 幸徳秋水の足跡を訪ねて」参加者: 有山輝雄, 熊谷次郎, 芝村篤樹, 滝澤武人, 松浦玲, 山下直登 場所: 高知県, 愛媛県

④ (84共45) 現代社会における病理構造 (代表: 飯塚進)

- ・ 6月5日 研究会「社会病理とシステム・アプローチ——特にアメリカの動向について——」報告者: 野々山久也 参加者: 上野谷加代子, 北川紀男, 宮本義信 場所: 学内, 総合研究所
- ・ 12月18日 研究会「老人ケースワーク技法の開発」報告者: 宮本義信 参加者: 飯塚進, 上野谷加

代子, 北川紀男, 野々山久也 場所: 学内, 総合研究所

- ・ 1月23日～25日 調査「日本の個別文化特性に留意した対人援助技法の開発に関する調査研究」(宮本義信) 場所: 東京, 弘済会館福祉資料室他
- ・ 2月26日～27日 研究会「老後の居住について」報告者: 上野谷加代子 参加者: 飯塚進, 北川紀男, 野々山久也, 宮本義信 場所: 守口市, ゆうゆうの里

⑤ (84共46) 歴史的都市界の社会・文化・経済 (代表: 飯島伸子)

- ・ 5月30日 研究会「研究会運営と成果目標について」参加者: 池野茂, 庄谷邦幸, 津田直則, 中田信正, 並川宏彦, 野々山久也, 松浦玲, 村山高康 場所: 学内, 中会議室
- ・ 6月2日 研究会「界・泉北臨海コンビナートについて」講師: 和田任弘氏(日本証券経済研究所) 参加者: 池野茂, 岡崎守男, 庄谷邦幸, 津田直則, 中田信正, 並川宏彦 場所: なにわ会館
- ・ 11月10日 調査・会合「島野工業㈱の見学とヒアリング及びプロジェクトの今後の計画について」参加者: 飯島伸子, 庄谷邦幸, 中田信正, 並川宏彦, 他に今木秀和, 鈴木幾多郎, 学外より Anke Petersen 場所: 堺市
- ・ 2月18日～19日 調査・研究会①「鈴鹿市白子にて注染紙製造過程の見学, 市役所にて聞き取り」②「円高と堺産業」報告者: 庄谷邦幸 ③「四日市市にて臨海工業地帯の見学他」参加者: 飯島伸子, 池野茂, 津田直則, 並川宏彦, 学外より沢井余志郎, 阪紀一郎 場所: 三重県, 鈴鹿市, 四日市市
- ・ 3月18日～19日 調査①「浜ちりめんの生産工場, 試験機関等の見学」②「ディーゼルエンジンの製造工場見学」参加者: 飯島伸子, 庄谷邦幸, 津田直則, 中田信正, 並川宏彦 場所: 滋賀県, 長浜市役所商工観光課, ヤンマーディーゼル長浜工場他
- ・ 3月24日 研究会「堺臨海コンビナート調査結果について」講師: 梶岡悟氏(日本システム開発研究所) 参加者: 飯島伸子, 庄谷邦幸, 津田直則, 並川宏彦 場所: 関西文化サロン

⑥ (84共47) 戦後日本主義分析 (代表: 山下直登)

- ・ 4月28日 研究会「欧米の利潤率低下論争について」報告者: 滝田和夫 参加者: 木村二郎, 黒田兼一, 鈴木健, 谷口照三, 西川憲二, 山下直登 場所: 学内, 総合研究所
- ・ 5月28日 研究会「グローバル戦略をめぐる日米企業の対抗と協調——日本金融資本の国際化戦略とその限界(1)——」報告者: 鈴木健 参加者: 木村二郎, 黒田兼一, 滝田和夫, 谷口照三, 西川憲二, 落谷硯児, 山下直登 場所: 学内, 総合研究所
- ・ 6月25日 研究会「近年の人事管理の若干の動向について」報告者: 黒田兼一 参加者: 木村二郎, 鈴木健, 滝田和夫, 谷口照三, 西川憲二, 落谷硯児, 山下直登, 山田博文 場所: 学内, 総合研究所
- ・ 7月16日 研究会「金融自由化と信用調節」報告者: 木村二郎 参加者: 黒田兼一, 鈴木健, 滝田和夫, 谷口照三, 西川憲二, 落谷硯児, 山下直登 場所: 学内総合研究所
- ・ 9月17日～18日 研究会「戦後日本経済に関する文献サーベイ」報告者: 木村二郎, 鈴木健, 滝田和夫, 西川憲二, 落谷硯児 参加者: 黒田兼一, 谷口照三, 山下直登 場所: 和歌山県高野山己陵院
- ・ 10月29日 研究会「松本広治著『日本の経営参加——ある中小企業家の悲願——』について」報告者: 谷口照三 参加者: 木村二郎, 黒田兼一, 鈴木健, 滝田和夫, 西川憲二, 落谷硯児, 山下直登 場所: 学内, 総合研究所
- ・ 12月10日 研究会「中村隆英著『日本経済の進路』について」報告者: 山下直登 参加者: 黒田兼一, 滝田和夫, 谷口照三, 西川憲二, 落谷硯児, 山田博文 場所: 学内, 総合研究所

- ・ 12月26日 研究会「野口悠紀雄著『財政危機の構造』について」報告者：山田博文 参加者：黒田兼一、滝田和夫、谷口照三、西川憲二、落谷硯児、山下直登 場所：関西文化サロン
- ・ 1月28日 研究会「小池和男著『日本の熟練』をめぐって」報告者：黒田兼一 参加者：木村二郎、滝田和夫、谷口照三、西川憲二、山下直登、山田博文 場所：学内、総合研究所
- ・ 3月14日～15日 研究会「インフレーションにおける実物と貨幣」報告者：木村二郎 参加者：黒田兼一、滝田和夫、谷口照三、西川憲二、落谷硯児、山下直登 場所：兵庫県、武田尾温泉④旅館

⑦ (84共48) リスク・マネジメントに関する研究 (代表：武田久義)

- ・ 9月10日～11日 研究会「ディストラクチュアリングの手段としての MAD とセキュリティゼーション」講師：松井和夫氏 参加者：今木秀和、武田久義、落谷硯児 場所：兵庫県、武田尾温泉④旅館
- ・ 12月19日 調査「リスク・マネジメントの現状について」(武田久義) 場所：東京
- ・ 3月17日～18日 研究会「日本林業とリスク・マネジメント」報告者：武田久義 参加者：今木秀和、谷口照三、落谷硯児 場所：兵庫県、武田尾温泉④旅館

⑧ (84共49) 経営管理教育のためのビジネスゲームの研究 (代表：山本紀徳)

- ・ 11月22日 研究会「ACMME モデルプログラムの検討」参加者：稲別正晴、岸本裕一、山本紀徳 場所：関西文化サロン
- ・ 12月26日 研究会「青木昌彦著『現代の企業』について討議」参加者：浅田孝幸、稲別正晴、岸本裕一、山本紀徳 場所：関西文化サロン
- ・ 3月17日～18日 研究会「各人の今年度の研究成果の個別報告と来年度の取り組みについての討議」参加者：稲別正晴、岸本裕一、高井孝之、山本紀徳 場所：高槻市、かじか荘

⑨ (85共51) 近世地方文書研究 (代表：生瀬克己)

- ・ 4月1日～3日 研究会「近世文書比較検討」参加者：有山輝雄、滝澤武人、生瀬克己、場所：河内長野市、南天苑
- ・ 5月24日～25日 研究会「『地方細論集』をめぐって」講師：安澤秀一氏 参加者：有山輝雄、滝澤武人、生瀬克己、庄谷邦幸 場所：大阪市、山中荘

⑩ (85共52) ヨーロッパ世紀末芸術の研究 (代表：兼武進)

- ・ 6月12日 研究会「キーツとヴィクトリア朝」報告者：岡田章子 参加者：兼武進、日下隆平、荒木映子 場所：関西文化サロン
- ・ 7月3日 研究会「芥川龍之介と世紀末」報告者：兼武進 参加者：荒木映子、中村祥子、難波江和英 場所：関西文化サロン
- ・ 10月30日 研究会「Virginia Woolf (1882～1914) の世紀末」報告者：難波江和英 参加者：岡田章子、日下隆平、田村和彦 場所：関西文化サロン
- ・ 12月18日 研究会「パリで見たウィーン世紀末展」報告者：田村和彦 参加者：岡田章子、日下隆平、中村祥子、難波江和英 場所：関西文化サロン
- ・ 1月30日 研究会「詩にみる風景——ワーズワスとイエイツの場合——」参加者：兼武進、日下隆平、田村和彦 場所：関西文化サロン
- ・ 2月19日 見学会「エル・グレコ展の見学」参加者：日下隆平、田村和彦、難波江和英 場所：奈良県立美術館

⑪ (86共53) 現代の科学技術論——日本と諸外国における動向——(代表：後藤邦夫)

- ・ 11月25日 研究会「The Validity and Limits of Dialectical Reason」講師：Konstantinus I. Boudouris 氏（アテネ大学哲学部教授，ギリシア哲学会会長）参加者：松永俊男，山川偉也，他に金学鉞，清水真一，滝澤武人，田平正典，藤間繁義，堤正史 場所：学内，総合研究所
- ・ 1月29日 研究会「日本と諸外国における進化論の動向」報告者：松永俊男 参加者：安藤洋美，後藤邦夫，山川偉也 場所：学内，総合研究所
- ・ 2月23日～25日 調査「資料調査」（松永俊男） 場所：東京

⑫ (86共54) 被差別部落の歴史・文化・現状に関する総合的研究(Ⅱ)(代表：寺木伸明)

- ・ 6月20日 研究会「中世芸能の社会的機能について」講師：青盛透氏 参加者：岩津洋二，沖浦和光，竹中暉雄，寺木伸明 場所：学内，人権問題研究・資料室
- ・ 5月24日～25日 調査「堅山利忠氏より水平社運動史に関する聞きとりと資料調査」（沖浦和光） 場所：神奈川県二宮町
- ・ 10月30日 研究会「全国水平社の思想」講師：藤野豊氏（本学非常勤講師）参加者：岩津洋二，沖浦和光，竹中暉雄，寺木伸明，藤間繁義，生瀬克己，村田恭雄 他に滝澤武人，山川偉也 場所：学内，人権問題研究・資料室
- ・ 1月22日～25日 調査「瀬戸内海諸島における被差別部落の民俗と文化 聞き取りと資料調査」（沖浦和光） 場所：愛媛県温泉郡
- ・ 1月29日 研究会「ケガレ意識について」報告者：岩津洋二 参加者：飯島伸子，滝澤武人，竹中暉雄，寺木伸明，藤間繁義，生瀬克己，山川偉也 場所：学内，人権問題研究資料室
- ・ 3月13日 研集会参加「全国部落問題学者・文化人研究集会」（沖浦和光） 場所：東京
- ・ 3月25日～26日 調査「奈良県桜井市及び奈良市内の被差別部落の歴史・現状調査」参加者：岩津洋二，沖浦和光，竹中暉雄，寺木伸明，生瀬克己，村田恭雄，山川偉也 場所：奈良県桜井市，奈良市

⑬ (86共55) 企業行動の国際比較(代表：伊藤淳己)

- ・ 9月24日 研究会「アメリカ会計学会平次大会に参加して」報告者：浅田孝幸 参加者：伊藤淳己，稲垣慶成，今木秀和，植村省三，鬼塚光政，海道ノブチカ，黒田兼一，鈴木幾多郎，谷口照三，中田信正 場所：学内，総合研究所
- ・ 10月22日 研究会「＜日本の労使関係＞の編成と労務管理」報告者：黒田兼一 参加者：浅田孝幸，伊藤淳己，稲垣慶成，稲別正晴，今木秀和，植村省三，鬼塚光政，海道ノブチカ，鈴木幾多郎，谷口照三，中田信正 場所：学内，総合研究所
- ・ 11月14日 研究会「戦後復興期と＜企業経営の民主化＞問題——戦後経営理念の特徴と課題(1)——」報告者：谷口照三 参加者：浅田孝幸，伊藤淳己，稲垣慶成，今木秀和，植村省三，鬼塚光政，海道ノブチカ，倉橋重史，黒田兼一，中田信正 場所：昭和町，同窓会館会議室
- ・ 1月14日 研究会「経済摩擦と企業経営」報告者：今木秀和 参加者：浅田孝幸，伊藤淳己，稲垣慶成，鬼塚光政，海道ノブチカ，谷口照三，中田信正 場所：学内，総合研究所
- ・ 3月6日～7日 調査 ①「トヨタ自動車の国際展開をめぐる——広報部次長と懇談」②「提工場アセンブリーライン見学」参加者：浅田孝幸，伊藤淳己，稲垣慶成，稲別正晴，今木秀和，植村省三，鬼塚光政，海道ノブチカ，倉橋重史，黒田兼一，鈴木幾多郎，谷口照三，中田信正 場所：愛知県豊田市，トヨタ自動車

⑭ (86共56) 書誌的研究法の考察と展開——計量書誌学的アプローチ—— (代表：中田信正)

- ・ 4月1日～2日 調査「荷風書誌及び大正期の出版調査」(志保田務) 場所：東京・昭和女子大学, 国立国会図書館
- ・ 4月5日 研究会「書誌索引の取りまとめ作業」参加者：志保田務, 豊後レイ子, 西田文男, 吉田憲一 場所：NTT上六荘
- ・ 4月9日 会合「荷風書誌の原稿打ち合わせ」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 豊後レイ子, 西田文男, 吉田憲一 場所：NTT上六荘
- ・ 4月30日 研究会「荷風索引研究」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 豊後レイ子, 西田文男, 吉田憲一 場所：NTT上六荘
- ・ 6月10日 研究会「作家書誌の検討」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 西田文男, 吉田憲一 場所：NTT上六荘
- ・ 7月2日 研究会「荷風読書書誌の記述様式について」報告者：志保田務 参加者：赤瀬雅子, 中田信正, 西田文男 場所：上六荘
- ・ 8月6日 研究会「荷風読書書誌検討」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 西田文男, 豊後レイ子, 吉田憲一, 他に矢野明子 場所：仙山閣
- ・ 8月18日～19日 調査「荷風書誌研究」(志保田務) 場所：東京, 国立国文学研究資料館
- ・ 9月17日 会合「荷風書誌作成」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 西田文男, 吉田憲一 場所：NTT上六荘
- ・ 10月21日 研究会「荷風書誌の原稿検討(1)他」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 中村祥子, 西田文男, 豊後レイ子, 吉田憲一 場所：梅田, あすなろ
- ・ 11月25日 会合「荷風読書書誌第一回雑誌掲載希望分の検討及び序文の検討他」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 中村祥子, 西田文男, 豊後レイ子, 吉田憲一 場所：梅田, あすなろ
- ・ 1月13日 研究会「荷風読書書誌雑誌掲載分の完成稿及び序文の再検討他」参加者：赤瀬雅子, 志保田務, 中村祥子, 西田文男, 豊後レイ子, 吉田憲一, 他に大村由美, 福広悦子, 山田伸枝 場所：梅田, リヴィエール

⑮ (86共57) 平和原理の探究——日本の安全保障—— (代表：森本良男)

- ・ 5月12日 研究会「研究テーマの分担と研究計画の打ち合わせ」参加者：勝部元, 鈴木博信, 藤間繁義, 前田徹生, 望月和彦, 森本良男 場所：関西文化サロン
- ・ 6月16日 研究会「相互依存体制と安全保障」報告者：望月和彦 参加者：勝部元, 藤間繁義, 前田徹生, 森本良男 場所：関西文化サロン
- ・ 7月14日 研究会「憲法第9条の起源」報告者：前田徹生 参加者：鈴木博信, 藤間繁義, 望月和彦, 森本良男 場所：関西文化サロン
- ・ 10月6日 研究会「ゴルバチョフ外交」報告者：森本良男 参加者：勝部元, 藤間繁義, 前田徹生 場所：関西文化サロン
- ・ 11月11日 シンポジウム参加「国際シンポジウム'86——国際情勢の展望と日ソ関係のこれから」(望月和彦) 場所：東京, 海運ビル
- ・ 12月8日 研究会「南アフリカ状勢」報告者：鈴木博信 参加者：勝部元, 前田徹生, 望月和彦, 森本良男 場所：関西文化サロン
- ・ 12月20日 研究会参加「朝鮮半島情勢と日本の安全保障についての討論」(望月和彦) 場所：東京, 平和安全保障研究所
- ・ 3月4日 研究会参加「ゴルバチョフ時代のソ連の外交, 軍事問題」(森本良男) 場所：東京, 防衛研修所
- ・ 3月17日～18日 研究会「ヨーロッパの反核運動——トムソンの平和戦略——」報告者：勝部元 参加者：藤間繁義, 前田徹生, 望月和彦, 森本良男 場所：福井県栗津温泉

- ・ 3月20日～25日 会合「日本財政法学会参加」(前田徹生) 場所：東京，武蔵大学他

⑩ (86共58) 公共政策の経済効果に関する理論・実証研究 (代表：田平正典)

- ・ 5月27日 研究会「政官財複合体について」報告者：鈴木健 参加者：田平正典，望月和彦，矢根真二，今木秀和 場所：学内，中会議室
- ・ 7月15日 研究会「集中度——利潤率仮説の検討」報告者：矢根真二 参加者：鈴木健，田平正典，望月和彦 場所：学内，矢根研究室
- ・ 12月9日 研究会「わが国の産業組織論の現状(I)」報告者：矢根真二 参加者：岸本裕一，鈴木健，田平正典，望月和彦 場所：学内，総合研究所
- ・ 12月10日 調査「日本企業の海外進出の実態に関する資料収集ならびにヒアリング」(鈴木健) 場所：東京，機械振興協会図書館他
- ・ 12月22日 調査「日米間の農業政策の相互調整につき聴き取り」(岸本裕一) 場所：東京，米国大使館他
- ・ 1月26日 研究会「日本の産業政策(I)」報告者：望月和彦 参加者：岸本裕一，田平正典，矢根真二 場所：学内，総合研究所
- ・ 3月11日 研究会①「SD手法の適用について」報告者：岸本裕一 ②「日本の産業政策Ⅱ」報告者：田平正典 参加者：鈴木健，望月和彦，矢根真二 場所：大阪郵政会館

⑪ (86共59) 日韓比較 (代表：伊代田光彦)

- ・ 6月13日 研究会「韓国経済の最近の動向と全経連の役割」講師：全尚列氏(韓国全経連東京駐在部長) 参加者：伊代田光彦，鬼塚光政，桂昭政，北野誠一，庄谷邦幸，徐龍達，谷口照三，西川憲二，落谷硯児，他に奥津康男氏(経団連) 場所：学内，総合研究所
- ・ 7月16日～19日 啓明大学校との研究交流
 - ① 7月16日 資料収集 参加者：呂東吉，金善政，柳建佑，曹賢正，李在律，本学から伊代田光彦，海道ノブチカ，西川憲二，他に今木秀和，岡崎守男，金学鉉，庄谷邦幸，徐龍達，中田信正 場所：本学
 - ② 7月17日 研究会「韓国の経済」参加者：啓明大5名+伊代田光彦，海道ノブチカ，西川憲二，全在紋，他に落谷硯児，山下直登
 - ③ 7月18日 調査「繊維産業について」参加者：啓明大5名+伊代田光彦，庄谷邦幸，全在紋 場所：大阪府立繊維技術研究所(泉大津市)，池治織物K. K. (和泉市)
 - ④ 7月19日 調査「大阪府の中小企業対策について」参加者：啓明大5名+庄谷邦幸 場所：大阪府商工部経済振興課
- ・ 11月5日 研究会「財閥資本研究の現状と課題」報告者：山下直登 参加者：伊代田光彦，海道ノブチカ，桂昭政，長谷川彰，落谷硯児 場所：学内，総合研究所(※第7回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー準備研究会)
- ・ 11月19日 研究会「日韓国際収支と対外ポジションの比較研究」報告者：落谷硯児 参加者：伊代田光彦，庄谷邦幸，滝田和夫，モグベル・ザファル，山下直登 場所：学内，総合研究所(※第7回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー準備研究会)
- ・ 3月12日 会合「61年度プロジェクト活動の総括と韓国資料収集について」参加者：伊代田光彦，海道ノブチカ，全在紋，西川憲二，西尾朝子 場所：泉北，コンチネンタル

2. その他共同研究プロジェクト関連事項

- ・ 5月29日 1986(昭和61)年度第1回共同研究プロジェクト代表者会議
 - ①1986年度共同研究プロジェクト予算配分決定

②1985年度予算決算報告／1987年度共同研究プロジェクトの申請方法について／「活動報告書」について／日常活動についての注意事項／総合研究プロジェクトの申請について／研究活動への学外資金の導入について／「参加者全員による研究成果報告の制度化」に関連して等研究所から連絡と要請

- ・ 6月25日 「1987年度共同研究プロジェクトの申請について」配布
- ・ 7月4日 1987年度共同研究プロジェクト申請受付（～9月30日締切）
- ・ 10月3日 1987年度共同研究プロジェクト申請分公開掲示（13テーマ，～10月16日まで，20日に集約）
- ・ 10月23日 1987年度共同研究プロジェクト申請分の承認（13テーマ，第9回研究所委員会）
- ・ 2月21日 1986（昭和61）年度第2回所員総会（※議題の一部として），共同研究プロジェクト参加者全員による研究成果報告の制度化（昭和59年度第3回総合決定，2月20日）について——その有効性が消失したことを確認。ただし，その趣旨を「活動報告書」の中にいかすことを承認
- ・ 3月末 ワードプロセッサ購入（キャノワード550）

3. その他総合研究プロジェクト関連事項

- ・ 4月18日 「総合研究プロジェクトの募集について(通知)」配布
- ・ 5月1日 1987（昭和62）年度活動開始の総合研究プロジェクトの申請受付開始（～5月31日まで）
- ・ 7月3日 1987年度総合研究プロジェクトの決定 テーマ：「戦後の日本企業における経営の展開と展望」代表：伊藤淳巳（申請は2件あり 第6回研究所委員会）
- ・ 11月18日 日本私学振興財団の研究費助成に応募（昭和62年度分）総合研究プロジェクト テーマ：「戦後日本企業における経営の展開と展望」代表：伊藤淳巳（本学から6回目→3月27日付通知：不交付）

B. 国際交流関係

1. 啓明大学校関係

- ・ 6月13日 研究会「韓国経済の最近の動向と全経連の役割」講師：全尚列氏（韓国全経連東京駐在部長）奥津康男氏（経団連大阪支部総務課長）も同行，学内見学，懇談
 - ・ 7月15日 研究交流のため啓明大学校から5氏（呂東吉，金善政，柳建佑，曹賢正，李在律）来学
 - ・ 7月16日 同上，資料収集
 - ・ 7月17日 同上，研究会「韓国の経済」
 - ・ 7月18日 同上，調査「繊維産業について」
 - ・ 7月19日 同上，調査「大阪府の中小企業対策について」
 - ・ 10月20日 『桃山学院大学・啓明大学校交流の歩み』発行
 - ・ 11月5日 準備研究会「財閥資本研究の現状と課題」報告者：山下直登
 - ・ 11月19日 準備研究会「日韓国際収支と対外ポジションの比較研究」報告者：落谷硯児
- ※以上，10月20日を除くいずれも，共同研究プロジェクト86共59＝日韓比較の活動であるが第7回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナーの準備の役割を果たすので再掲する。詳しくは，A，1の86共59参照
- ・ 12月10日 『日韓企業経営の諸問題』〔桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー（Ⅰ），日本語版〕発行 ※啓明大学校にてハングル版作製，両国語版合本を限定作製
 - ・ 12月16日 啓明大学校からセミナー参加者（鄭基淑，申壽徹，高在経，金漢圭，李承燁の5氏）来日
 - ・ 12月17日 第7回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー開催（参加者：43名 場所：本学，聖アンデレ館会議室）

- ①「日韓国際収支と対外ポジションの比較研究」(報告者：落谷硯児 本学経済学部教授)
 - ②「大邱地域中小企業輸出戦略のための事例研究——南安繊維会社を中心として——」
(報告者：申壽澈 啓明大学校経営大学経営科教授, 李承燁 同助教授)
 - ・ 12月18日 ③「韓国の中小企業と中小企業政策」(報告者：金漢圭 啓明大学校社会科学大学経済学科助教授)
 - ・ 12月19日 ④「財閥資本研究の現状と課題」(報告者：山下直登 本学経済学部助教授)
 - 同上、訪問調査(参加者10名)
 - ①大阪府立産業能率研究所(大阪市)
 - ②大阪府立商工経済研究所(大阪市)
 - ③日本綿スフ織物工業組合連合会大阪事務所(大阪市)
- ※上記セミナー報告等は、『総合研究所報』第13巻第1号＝本号に収録。なお、今回より従来の共同研究会を国際学術セミナーに改称。

2. その他の国際交流関係

◎外国人研究者を囲む研究会

- ・ 4月14日 Thomas. S. Kuhn. アメリカ, MIT 教授 テーマ：“Scientific Revolutions and Lexical Change……A Reply to the Tradition of Philosophy of Science”
参加者：14名 場所：関西文化サロン
- ・ 5月16日 Jan Bossak ポーランド, ワルシャワ中央計画統計大学助教授 テーマ：“ポーランドの経済学者の眼からみた世界経済の中の日本” 参加者：7名 場所：関西文化サロン ※本学経済経営学会と共催
- ・ 6月9日 Abdur Rahman インド国立科学技術開発研究所前所長；国際科学政策学会会長 テーマ：“第三世界の経済発展と科学技術政策” 参加者：7名 場所：本学総合研究所 ※本学経済経営学会と共催
- ・ 8月16日 Donaldo C. Cook カナダ, トロント大学図書館・情報科学学部教授 テーマ：“Some Problems of Contemporary Cataloging” 参加者：39名 場所：大阪市立中央図書館
- ・ 9月16日 James Taylor イギリス, ランカスター大学経済学部長 テーマ：“Mass Unemployment in Britain: Problems and Policies” 参加者：9名 場所：本学総合研究所 ※本学経済経営学会と共催
- ・ 11月27日 Konstantinus. I. Boudoulis ギリシア, アテネ大学哲学部教授, ギリシア哲学会会長
テーマ：“ヘーラクレイトスと自己認識の問題” 参加者：9名 場所：なにわ会館
- ・ 12月1日 Hiroshi Yamauchi アメリカ, ハワイ大学教授 テーマ：“Pacific Basin Approach to the U. S.—Japan Trade Problems” 参加者：7名 場所：本学総合研究所 ※本学経済経営学会と共催

C. 出版関係

1. 学内紀要(論集)発行日 ()内は月/日

- ・ 経済経営論集 28巻1号(6/30), 2号(10/20), 3号(12/20), 4号(3/31)
- ・ 社会学論集 20巻1号(7/20), 2号(12/20)
- ・ 人文科学研究 22巻1号(7/21), 2号(12/15), 3号(3/31)
- ・ キリスト教論集 23号(3/31)

- ・総合研究所報 12巻1号(6/30), 2号(12/20), 3号(3/31)

2. 紀要(論集)関連事項

- ④紀要編集者会議
 - ・第1回(5/26)
 - ①今年度事業計画〔年度予算／発行予定〕
 - ②その他〔編集委員の役割等について〕
 - ・第2回(10/12)
 - ①来年度事業計画〔次年度予算, 特集企画について〕
- ⑤紀要編集委員
 - ・経済経営論集(浅田孝幸, 木村二郎)
 - ・社会学論集(小川博司, 宮本孝二)
 - ・人文科学研究(清水真一, 永井清彦, 山川偉也)
 - ・キリスト教論集(藤間繁義)
 - ・総合研究所報(滝澤武人)

3. 学術出版助成

- ・5月15日 竹中分の出版助成契約書を勁草書房と締結
- ・6月2日 岡田分の出版助成契約書をあぼろん社と締結
- ・6月6日 山川分の出版助成契約書を玉川大学出版部と締結
- ・10月31日 昭和62年度分出版助成申請締切(申請なし)
- ・12月20日 『キースの詩』(岡田章子著, あぼろん社)刊行
- ・12月25日 『ギリシア人の哲学と世界観』(山川偉也著, 玉川大学出版部)刊行
- ・2月25日 『ヘルバルト主義教育学——その政治的役割——』(竹中暉雄著, 勁草書房)刊行

4. 研究叢書

- ・10月31日 昭和62年度刊行分の研究叢書申請締切(申請なし)

D. 企画・調査

1. 委託調査

- ・9月11日 尼崎市制70周年記念, 日本産業技術史学会あまがさきシンポジウムに参加(尼崎市産業記念物調査会)※本学関係部分のみ
事例報告『産業記念物の保存と活用』
①「地域の広がりを持った博物館……アイアンブリッジを例に」報告者: 池野茂
- ・9月12日 調査報告および提言『産業博物館構想と中堅工業都市』
①「尼崎の産業記念物の保存とその活用」報告者: 並川宏彦
②「科学・産業博物館の現状と展望」報告者: 後藤邦夫
③「尼崎産業の再活性化と産業博物館」報告者: 庄谷邦幸
パネルディスカッション『産業記念物・産業博物館・新しい産業都市』
コーディネーター: 後藤邦夫
※上記は, 他の報告等も含め『日本産業技術史学会あまがさきシンポジウム』〔尼崎市制70周年記念『まちづくりコンベンション・シリーズ記録』(財)あまがさき未来協会, 1987年3月発行の4分冊の1冊)としてまとめられた。

2. 研究会等参加

- ・5月22日～23日 昭和61年度第1回地方調査機関全国協議会(=地全協)シンポジウム「地域と産業」(参

加者：庄谷邦幸 場所：福井厚生年金会館)

- ・ 6月4日～5日 専門図書館協議会(=専図協)全国研究集会「情報で地域をつなぐ専門図書館」(参加者：中嶋二郎 場所：札幌，教育文化会館)
- ・ 3月19日～20日 全国図書館大会「IFLA 東京大会報告と今後の日本図書館の方向」(参加者：西尾朝子 場所：東京，日本青年館)

3. 学内発行物 ()内は発行月/日

- ④研究所ニュース 36号(5/15)，37号(7/17)，38号(11/11)，39号(12/12)，40号(2/12)
- ⑤研究活動の情報交換 No.3 (7/15)

E. 資 料

1. 昭和61年度受入資料

- ・ 図書 2,195 冊——定期刊行図書(統計年鑑類，白書，調査報告書)中心
- ・ 雑誌 263 種——和雑誌 255 種，洋雑誌 8 種

2. そ の 他

- ・ 昭和61年度資料利用状況——貸出(229冊)，返却(104冊)
- ・ 『桃山学院大学総合研究所蔵書目録1986年10月末現在追録版』(3月31日発行)
- ・ 1月12日他 韓国関係資料収集打合せ(所長，担当者)
- ・ 2月27日 地域資料収集(堺市役所，西尾朝子)

◎寄 贈

- ・ 5月9日他 佐藤洋名誉教授から蔵書の寄贈を受ける

F. そ の 他

1. 昭和61年度所員総会

- ・ 11月7日 第1回
 - I 審議事項
 - 1. 所長選出について
 - 2. その他
- ・ 2月21日 第2回
 - I 審議事項
 - 1. 総合研究所所長選出条項の改正(案)について
 - 2. 共同研究の成果報告について
 - 3. その他

2. 研究所委員会(第1回～第18回，月/日)

- ①4/10 ②4/24 ③5/22 ④6/5 ⑤6/19 ⑥7/3 ⑦9/25 ⑧10/9 ⑨10/23
⑩11/13 ⑪11/20 ⑫12/4 ⑬12/11 ⑭1/18 ⑮1/22 ⑯2/5 ⑰2/19 ⑱3/12

◎来 訪

- ・ 6月3日 アメリカ，ハワイ大学社会学部スタインホフ教授
- ・ 10月1日 アメリカ，ハワイ大学 Hiroshi Yamauchi 教授夫妻(～1月初旬まで，本学ワレン

- ・ 2月4日 館に滞在)
アメリカ, ハワイ大学環太平洋経営研究所

G. 関連事項

1. 学内学会関係

・ 昭和61年度学会役員

経済経営学会 〔会長〕菅井勇蔵 〔編集〕浅田孝幸, 木村二郎 〔研究会〕稲垣慶成 〔庶務・会計〕鈴木健 〔監事〕矢根真二

社会学会 〔会長〕北川紀男 〔編集〕小川博司, 宮本孝二 〔研究会〕鈴木博信 〔庶務・会計〕片桐新自 〔監事〕森本良男

- ・ 研究会〔経〕
 - ① (5/16)「ポーランドの経済学者の眼からみた世界経済の中の日本」 報告者: Jan Bossak. ワルシャワ中央計画統計大学助教授 場所: 関西文化サロン
 - ② (6/9)「第三世界の経済発展と科学技術政策」 報告者: Abdur Rahman インド科学技術政策コンサルタント
 - ③ (9/16)「Mass Unemployment in Britain: Problems and Policies」 報告者: James Taylor ランカスター大学経済学部長
 - ④ (12/1)「Pacific Basin Approach to the U. S. Japan Trade Problems」 報告者: Hiroshi Yamauchi ハワイ大学教授
- 〔社〕
 - ① (4/16)「漁村の親族組織について」 報告者: 清水由文
 - ② (6/26)「老人ケースワークの『日本的』展開をめざして」 報告者: 宮本義信
 - ③ (11/6)「ソビエト社会学の現状」 報告者: ウラジーミル・シュラペントフ ミシガン大学教授 場所: 関西文化サロン
 - ④ (12/3)「音楽化社会の構図」 報告者: 小川博司
 - ⑤ (1/14)「Curing Caring との世界」 報告者: 北野誠一

※以上, 場所の記入のないものは学内。研究会の〔経〕①, ②, ③, ④は<外国人研究者を囲む研究会>として総合研究所と共催(前掲Bの2参照)

2. 一般教育懇談会関係・研究会(場所はいずれも学内)

- ① (4/24)「インドワークキャンプに同行して」 報告者: 岩津洋二
- ② (6/19)「メディアの多様化と情報管理システムの変化についての展望」 報告者: 志保田務
- ③ (7/8)「ビジネス・アリのゆくえ——働きバチは変身できるか——」 報告者: 西川一廉
- ④ (10/22)「日本聖公会に宣教師の残したもの」 報告者: 藤間繁義
- ⑤ (1/13)「エイジング, 老いの発見」 報告者: 中元藤茂(前本学, 社会学部教授=非常勤講師)